

授業科目

医療福祉コミュニケーション論

担当教員名 高橋 直樹	対象学年	2	対象学科	情報
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	◎

授業の概要

医療福祉における問題の一つに、医療福祉に携わる者と対象者とのコミュニケーション不足が指摘されている。医療福祉分野に関わる者は全て、人と人との間の望ましい関係を築き、円滑なコミュニケーションをおこなうことが重要である。

授業の目的

医療福祉の現場でコミュニケーションについて考える時、具体的に何をどうすれば良いのだろうか？この講義を通じて、その答えを導き出すことが授業の目的である。

学習目標

1. ケア・コミュニケーションの基本的な心構えについて理解し、説明できる。
2. 被援助者との関係を築くコミュニケーションについて理解し、説明できる。
3. 被援助者の理解と情報の交換、行動化の支援について理解し、説明できる。
4. チームワークとコミュニケーションについて理解し、説明できる。
5. その人らしさを大切にすることをコミュニケーションについて理解し、説明できる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	医療や介護におけるコミュニケーションを考える視点	講義	高橋 直樹
2	医療や介護におけるコミュニケーションの役割	講義	高橋 直樹
3	好感・信頼感を高めるコミュニケーション（1）	講義	高橋 直樹
4	好感・信頼感を高めるコミュニケーション（2）	講義	高橋 直樹
5	敬意を伝えるコミュニケーション	講義	高橋 直樹
6	相手を受容し、共感する	講義	高橋 直樹
7	苦情やクレームに対応する	講義	高橋 直樹
8	わかりやすく説明し、同意を確認する	講義	高橋 直樹
9	主体的な選択や行動を引き出す	講義	高橋 直樹
10	チームの一員として仕事を進める	講義	高橋 直樹
11	建設的でさわやかに対話する	講義	高橋 直樹
12	視聴覚言語障害を持つ被援助者とのコミュニケーション	講義	高橋 直樹
13	認知症の被援助者とのコミュニケーション	講義	高橋 直樹
14	人生の最期を迎える被援助者とのコミュニケーション	講義	高橋 直樹
15	まとめ	演習	高橋 直樹

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	ケア・コミュニケーション	麻生塾ケア・コミュニケーション研究会	ウイネット	2007年	2,000円 +税	教科書は必ず購入して毎回持参すること。
	ケア・コミュニケーション 問題集	サーティファイ	サーティファイ	2008年	1,500円 +税	
参考書						
その他の資料						

評価方法

以下の2つのうち、受講生の希望に基づき、いずれか1つの試験により評価する。

- (1) ケア・コミュニケーション検定。
- (2) ケア・コミュニケーション検定の模擬試験問題。

履修上の留意点

別途、ケア・コミュニケーション検定の受験料が必要となる（受験希望者のみ）。
教科書は必ず購入して毎回持参すること。
受講生の座席を指定する予定である。

オフィスアワー・連絡先

<オフィスアワー>

下記の連絡先にメールで確認してください。

<連絡先>

nao-taka@nuhw.ac.jp